

バンコ・サンタンデールが多額の減損損失を計上 格付への直接的な影響はないものの、収益力の先行きを注視

以下は、バンコ・サンタンデール・エセ・アー（Banco Santander, S.A.）が多額の減損損失を計上したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) バンコ・サンタンデール・エセ・アーは、20/12 期上半期決算でのれんの減損および繰延税金資産の評価額調整により一過性の減損損失 126 億ユーロを計上し、同期の最終利益は 108 億ユーロの赤字となった。これらの損失は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済見通しの悪化を反映したものである。のれんの減損の内訳は、英国が 61 億ユーロ、米国が 23 億ユーロ、ポーランドが 12 億ユーロ、Santander Consumer Finance（欧州コンシューマーファイナンス事業）が 5 億ユーロ。繰延税金資産の評価額調整はスペイン事業に関わるものである。
- (2) 今回の減損損失による自己資本への影響はなく、20 年 6 月末の普通株式等 Tier 1 比率は 19 年末の 11.58%から 11.84%へと上昇している。新型コロナウイルスの感染拡大により事業環境が悪化する中でも一定の利益を確保しており、減損損失の計上が直接的に格付に影響するものではないとみている。ただし、事業対象地域における経済の先行きは依然不透明であり、中期的に収益力にネガティブな影響が及ぶ可能性もあることから、JCR では今後の動向を注意深く見守っていく。なお、減損などの一過性要因を除いた 20/12 期上半期の業績は、総収益が前年同期比 8%減となった一方で貸倒引当金繰入額が 63%増加し、税前利益は 49%の減益となっている。

(担当) 内藤 寿彦・宮尾 知浩・佐伯 春奈

【参考】

発行体：バンコ・サンタンデール・エセ・アー（Banco Santander, S.A.）
外貨建長期発行体格付：A+ 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル